

# アーク溶接特別教育受講 報告書

共通機器部門 情報基盤機器管理班 氏名 鳴田 好広

## 1. はじめに (目的等)

業務でアーク光を用いた溶接を行うことになり、アーク溶接を行うための基本的な事項(アーク溶接の原理・溶接知識)を学習する必要が生じた。アーク溶接特別教育の受講でアーク溶接の基本的な事項と安全面の知識取得のため参加した。

## 2. 期間・場所

期間 : 令和 3 年 9 月 01 日・9 月 06 日・9 月 07 日

場所 : ロイヤルパワーアップスクール 福山校 広島県福山市松永町 4 丁目 15-83 (松永駅前)

## 3. 参加者等

9 月 01 日 受講者 21 名

9 月 06 日・07 日 受講者 7 名

## 4. 研修内容

9 月 01 日 研修内容

学科講習 7h : 講習内容 溶接に関する知識・溶接装置の知識・溶接作業の知識

9 月 06 日 研修内容

学科講習 4h : 溶接作業の知識・関係法令

実技講習 4.5h : アーク溶接で用いる設備・機器の取扱いとアーク溶接作業の技能講習

9 月 07 日 研修内容

実技講習 5.5h : アーク溶接で用いる設備・機器の取扱いとアーク溶接作業の技能講習

## 5. まとめと感想

受講したアーク溶接特別教育は、学科・実技講習を伴うものであった。学科講習は、アーク溶接の方式・原理、溶接機の構造、溶接作業の知識(継ぎ手の方法・溶接欠陥など)・関係法令について学び、業務で使用していた被覆アーク溶接機の構造について理解した。また、安全関連では溶接で発生するヒューム(金属蒸気)・アーク光の危険性について再確認した。

技能講習では、溶接機の点検を学び、使用前の溶接機の点検方法について理解した。また、溶接機の取扱いと溶接の練習として被覆アーク溶接と MAG 溶接を行った。被覆アーク溶接では、業務で使用する溶接棒と違い溶接中のビード・スラグ形成の相違を確認した。MAG 溶接では、MAG 溶接機の使用方法和板厚 9mm の母材を用いた重りの製作を行った。溶融池とビード形成・母材の溶け込み・難易度の違いについて経験した。

アーク溶接特別教育の受講した知識・経験を元に溶接業務の安全と溶接品質の向上に励む。